

大学の世界展開力強化事業（平成26年度採択） 中間評価結果表

大 学 名	東京大学
整理番号	i-1
事 業 名	日印産官学連携による技術開発と社会実装を担う人材育成プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント) 本事業は、東京大学の工学系学部・研究科が実施してきたインド工科大学諸校との教育・研究交流を基盤として、単位互換制度を整備するとともに5つの特色のあるプログラムを核として、派遣・受入双方で短期から長期の学生交流を展開し、工学分野における日印の人材育成を図ろうとする取組である。 大学全体の国際化の取組に加えて、鉄道技術の開発・人材育成など現地側ニーズに対応し、日印双方における産官学の連携の実現、現地事務所などを活用した運営、多様な派遣・受入プログラムの実施など、多彩かつ現実的な計画となっており、中間評価時点においておおむね計画に沿って着実に実施されている。 その一方で、単位認定制度の確立が遅れている点や日本側からの長期派遣が実現されていない点など、実施上の困難も明らかになっている。これらは、日印の高等教育制度及び学生のニーズの相違といった基本的問題に由来するものであるが、単位認定制度には一部導入の見通しがたち、また参加学生の事後調査等を通じて学生のニーズや教育効果の把握も進められていることから、今後十分に改善される可能性が認められる。 本事業の目的を達成するためにも、今後、本事業を構成する学部・研究科が連携して、派遣する日本人学生のインドの大学における教育の実質化・高度化を図るとともに、インド側に対しても東京大学における教育・研究活動に関する広報の強化が図られることが望まれる。	